

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	精神の健康増進への看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担 当 教 員	松岡 清子	実務経験とその関連資格	国立京都病院、兵庫中央病院等で計21年勤務 看護師			
《授業科目における学習内容》 地域社会における精神保健と精神看護について学び、精神保健に欠かせない法律、制度を学ぶと共に学校・職場・被災地など特別な環境における実際の看護を理解し、環境や人権について考える。リエゾン精神看護における活動・役割から精神科以外での精神保健看護の知識や技術を生かしていく活躍について学ぶ。さらに看護における感情労働としての側面を理解し、代償としてのメンタルヘルス上の問題に対処する方法について学び、自己の看護師としての今後の活動に活かす。						
《成績評価の方法と基準》 終講試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書:系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院						
《授業外における学習方法》 すでに履修している病態と治療Ⅴ(精神疾患)、精神看護学概論の学習内容である、疾患・治療、対象の特徴および関連法律について復習しておく						
《履修に当たっての留意点》 精神看護学は、小児看護学から老年看護学まですべての看護学の土台または共通する学問である。精神疾患患者の看護だけでなく、様々な状況にある対象広く心の健康を維持増進する看護を学ぶという視点をもち学習する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者が安定した地域生活を送ることができるよう、援助者が心得ておくべき原則について説明できる	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	1. 精神障がいをもちながら地域で暮らす人を支えるとは 2. 地域で生活するための原則			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の地域生活を支える社会制度とその基盤となる考え方を説明できる	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	1. 生活を支えるシステムと社会資源			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者の地域生活を支えるケアを実際に事例を通して説明できる	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	1. ケアマネジメントという方法 2. アウトリーチと多職種連携			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校・職場など、社会生活における精神保健と精神看護について説明できる	教科書 資料		
		各コマにおける授業予定	1. 学校におけるメンタルヘルスと精神看護 2. 職場におけるメンタルヘルスと精神看護 2. 災害と心のケア			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	おもな精神保健福祉対策とその動向について説明できる	教科書 資料		講義の復讐
		各コマにおける授業予定	1. 自殺対策 2. 依存症対策 3. 認知症対策			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルスについて説明できる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 感情労働とは 2. 看護における共感の光と影 3. レジリエンスを高める		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 リエゾン精神看護について説明することができる	教科書 資料	
	各コマにおける授業予定	1. 身体疾患をもつ患者の精神保健 2. リエゾナーズの役割と活動の実際 3. 看護師の精神的健康への支援		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 精神の健康増進への看護についてのまとめを行う		
	各コマにおける授業予定	1. 講義のまとめ		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			